

現状

旧市立第五中学校は、平成元年、二色の浜パークタウンの造成とともに生まれた学校です。
令和6年度の義務教育学校「市立二色学園」の開校に伴い、令和5年度末に閉校しました。
この場所をどう活かすか。
市は、地域・大学・行政の3者でつくる「第五中学校跡地活用協議会」を中心に、対話を重ねてきました。

これまでの歩み

令和5年度	利活用を考えるシンポジウムを開催
令和6年度	地域・大学・行政の3者で協議会を設立。市民アンケートに延べ400件の意見
令和7年度	協議会で議論を重ね、利活用の方向性を検討
令和8年度	骨子(案)とビジョンマップを公表。 オンライン参加プラットフォーム「Liqlid」で意見募集(8/24～9/15、投稿133件) 市民説明会・パブリックコメントを経て、12月末に基本方針を策定

VOICE 寄せられた声

体育館や武道場を、
これからも
地域スポーツの拠点に!

多世代が交流できる、
誰もが気軽に集まれる居場所がほしい

子どもが
安心して過ごせる
学びの場に

買い物など、
日々の暮らしを支える場所になったら

騒音や渋滞など、
周辺の住環境への
配慮も忘れずに

基本的な考え方

市が公共施設として維持するのではなく、民間事業者等の資金とノウハウを活かした利活用を基本とします。
行政だけでは実現できない、新しい価値やサービスの創出を目指します。

4つの柱



公共性と収益性の両立

持続可能な事業運営と、防災機能や地域コミュニティスペースなど公共的な役割を両立します。



複合的な利用

広い敷地と複数の建物を活かし、複数の機能・事業者が連携する複合的な活用を検討します。



地域とともに

にぎわいや活力の創出、地域経済の活性化を、地域とともに考え、意見を反映しながら進めます。



住環境との調和

まとまりのある住宅地に立地することを踏まえ、渋滞対策や騒音への配慮など、周辺の暮らしとの調和を大切にします。

大切にする前提

防災機能の維持

津波避難ビル・指定避難所などの防災機能は、利活用後も維持します。

地域の活動場所への配慮

可能な限り、地域活動に使えるスペースの確保を目指します。

周辺環境への配慮

良好な住環境の維持と交通対策等に十分配慮し、周辺の皆さんの意見を把握しながら進めます。

想定する事業手法

公募型プロポーザルにより事業者を選定し、市有地・建物を貸し付けて民間事業者等が自ら運営する方式を想定しています。複数の事業者がグループを組んで提案・運営する形も想定します。

公募型プロポーザル

定期建物賃貸借契約

民間による運営

今後のスケジュール

基本方針策定後 → 都市計画法上の手続き等 → 令和9年度中(予定) → 事業者公募

※基本方針の策定・公表後、必要な手続きを経て事業者公募を実施します。スケジュールは現時点の想定であり、変更となる場合があります。

これまでの経過と寄せられた声

オンライン参加プラットフォーム「Liqlid(リクリッド)」の特設サイトで、これまでの検討の経過や、寄せられた声をご覧いただけます。

意見募集(令和8年8月24日～9月15日)に寄せられた133件の声は、基本方針(案)に反映しました。

特設サイトはこちら



問い合わせ先

貝塚市 行財政管理課 公共施設マネジメント室
TEL:072-433-7393 E-mail:shisetsu@city.kaizuka.lg.jp

旧市立第五中学校利活用に関する基本方針(案)概要版

学び舎から、未来をつくる場所へ。

閉校した中学校を、地域のみんなで使いこなす。
貝塚市とまちの、これからの挑戦がはじまります。



令和8年9月 貝塚市

※本紙は基本方針の「案」段階の概要版です。今後の検討により内容が変わることがあります。

学び舎から、未来をつくる場所へ。

旧市立第五中学校という場所を活かし、地域と民間と一緒に、新しい価値を育てていきます。
人が集まり、活動が生まれ、新しい価値や仕事、挑戦が始まる場所を目指して。

協議会での議論と、令和6年度市民アンケート調査で寄せられた市民の声をもとに作成したビジョンマップ

基本理念

旧市立第五中学校を地域の資源として、
民間の自由な発想と地域の声で、新しい価値を育てます。



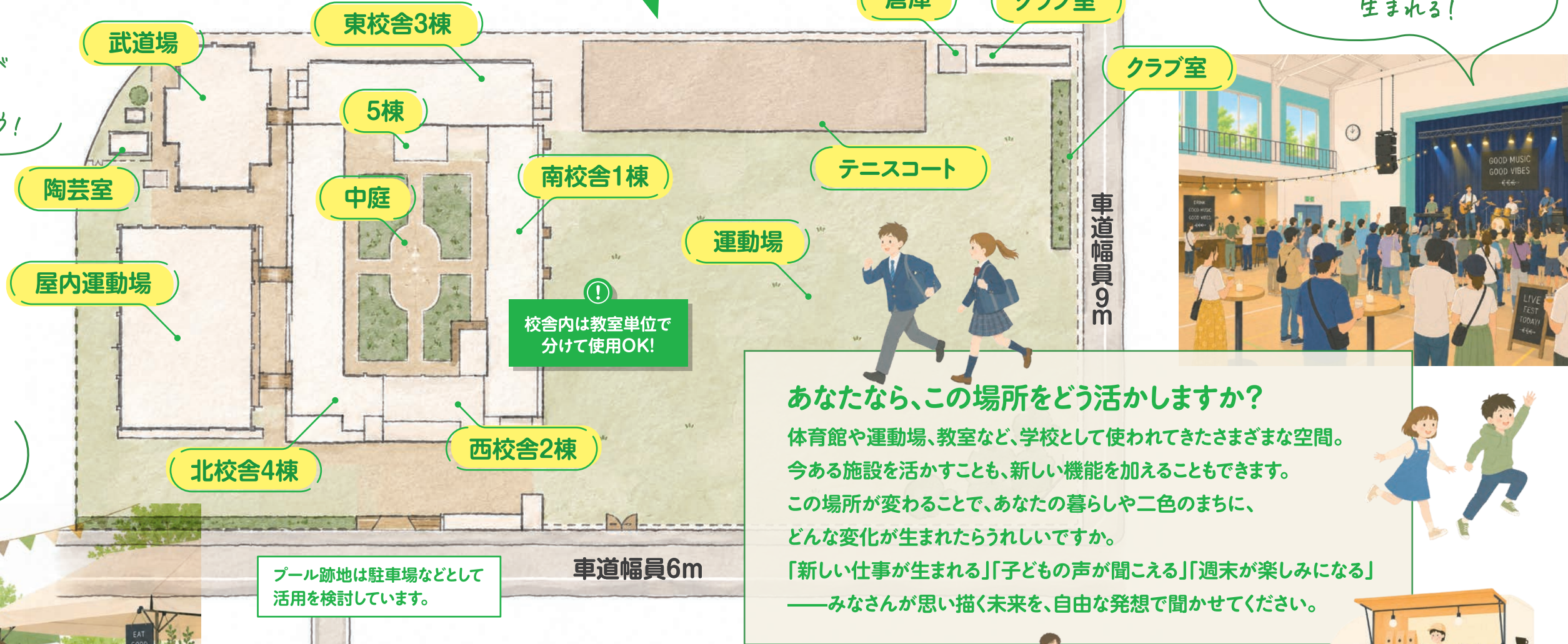
定期的に人が集まって
継続的にぎわいが生まれる！



例えば定期的な
マルシェの開催地



旧市立第五中学校の施設配置



プール跡地は駐車場などとして
活用を検討しています。



例えばサテライトオフィスや
コワーキングスペース

新しい仕事や価値が
生まれる場所になってほしい！



例えば日替わり
キッチンカー出店場所



必須条件 災害時の避難所機能の維持／地域活動の場(体育館・運動場など)への配慮／住環境への配慮(渋滞対策・動線分離)
実現プロセス ①意見募集(8/24～9/15) → ②市民説明会(10/25)・パブリックコメント(10/13～11/2) → ③基本方針策定(12月末) → ④事業者公募(令和9年度中(予定))

マップに示す活用イメージ(国際交流・学びの場、市民の憩いの公園、マルシェ、サテライトオフィス、キッチンカー等)はあくまで例示であり、確定した計画ではありません。

例えば国際交流や
異文化の学びの場



例えば市民の
憩いの公園



既存施設を再利用して、
“ここだけの価値”が
生まれる！

対象施設と周辺の環境

対象施設は、二色の浜パークタウンの住宅地の中にあり、
海辺のレクリエーション拠点・二色の浜に近接しています。
まとまった敷地と、体育館・武道場・運動場を備えた、可能性の大きな場所です。

施設の基本情報

所在地	貝塚市二色2丁目3-1
敷地面積	約17,870㎡
主な施設	校舎、屋内運動場(体育館)、武道場、運動場
アクセス	南海本線貝塚駅から徒歩約25分 (南海貝塚駅から巡回バスあり)



▲旧市立第五中学校 付近見取図



周辺の環境



二色の浜公園

海水浴場・松林のある府営公園。休日は
多くの家族連れでにぎわいます。



二色の浜パークタウン

計画的に整備された住宅地。良好な住
環境が広がります。



市立二色学園

令和6年度開校の義務教育学校。地域
の子どもの学び舎です。